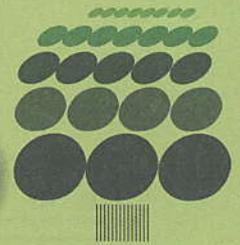


GREEN Rotary-Club



2011-2012年度 テーマ

国際ロータリー 「**こころの中を見つめよう
博愛を広げるために**」
R.I.会長 カルヤン・パネルジー

地区方針 「**心機一転**」
R.I.2720地区 ガバナー 本田 光廣

熊本グリーンR.C. 「**力を合わせよう**」
熊本グリーンR.C.会長 江上 泰弘

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市城東町4-2
熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311
■創立：平成元年2月22日
■会長：江上 泰弘
■幹事：松山 優喜
■会報担当：河野 景治
■事務所：熊本市城東町4-2
熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521
FAX096-354-4053
E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2012年2月26日】

第1035回

2011-2012年度 第29回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

・グリーンロータリークラブソング「友と語ろう」

2. 食事と交歓

来訪者の紹介

- 卓話者 熊本RC 木下 康 君
- 熊本市域RC 熊本西南RC 森 敏博 君

友情の握手

会長スピーチ (山下 隆生 副会長)

今晚は。
先週は、創立記念例会で愛那さんの若々しい歌声を聴かせて頂きましたが、ロータリーの創立記念日を皆さんはご存知でしょうか。2月23日がロータリーの創立記念日なんです。ゴロのいい2月22日がグリーン・クラブでその翌日23日がロータリーの創立記念日です1905年、107年程前のことですが もう忘れることはないと思います。
連絡事項になるのですが、3月9日・10日は地区大会です。コ・ホストクラブとしての役割を割り振ってあります。韓国の2つの地区からお見えになる来賓の方々の接待役をグリーンクラブで担当しなければなりません、やっとお見えになるロータリアンの内訳も連絡があったようです。

福岡へのお迎えから見送りまで大変な役割ですが、皆様ご協力よろしくお願ひいたします。また、例会終了後にこの件に就きましての打合せを行います。
連絡が来ている方は、ご参加お願いします。

幹事報告

(松山 優喜 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係) なし

■ 例会取止め・変更

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき例会を取止めます。

- 熊本江南 RC 3月28日(水)
- 熊本西南 RC 3月29日(木)

ロータリーの広報 メディアとの協力



- ・ メディア関係者に入会を勧めたり、クラブの例会で卓話をしてもらおう。
- ・ 広報担当者を一人任命する。
- ・ 主要なメディア機関のリストと連絡先をまとめておき、ロータリーの活動について随時知らせる。

卓話
予定

- 3/5 「熊本グリーンローターアクトクラブ活動報告」
★熊本グリーンローターアクトクラブとの合同例会
- 3/12 「地区大会報告」
- 3/19 外部卓話 近代文学館館長 井上 友重 氏
- 3/26 クラブ研修リーダーについて 河島 一夫 会員

[熊本グリーンR.C.ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

出席報告

田中 純司 クラブ管理運営委員

	会員総数	26名	出席率
2月27日	出席免除会員数	3名	65.22%
	計算上会員数	23名	
	出席会員数	15名	
2月6日	前回の出席会員数	15名	72.00%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
2/7	熊本グリーンローターアクト 山下(佳)君		
2/22	熊本平成RC 石浦君		
2/23	熊本北RC 江上君		

委員会報告① ローターアクトフリーマーケット
出品物募集

報告者：新世代委員長 山下 佳介 会員
熊本グリーンRACが3月18日(日)にフートパル熊本でありますフリーマーケットに出店します。来期の研修会準備費用等の資金集めの為ですが、ロータリアンの皆様へ出品物のご提供・ご協力をお願い致します。飲食物や生き物以外の物で、お歳暮などで余っているもの等をご提供下さい。来週5日のアクトとの合同例会時か12日のグリーンRCの例会時にご持参の程をお願い申し上げます。運搬が困難でしたら、アクトの方で取りに伺いますとの事です。

② 地区ブライダル委員会の相談コーナー
開設日程

報告者：仙波 洋八 会員
地区ブライダル委員会の相談コーナーが毎月「パレア」にて開設されております。本日今後のスケジュール一覧表を配布致しましたので、お知り合いの方をご紹介下さい。

③ ジャガイモの植え付け

報告者：農業委員 仙波洋八会員
昨日ジャガイモの植え付けを行う予定でしたが、雨天の為延期しましたが、連絡不足で栗山さんと山下(隆)さんが現地まで行かれたそうで申し訳ありませんでした。また来週日曜日に行い予定ですので、ご参加をお願いします。

その他

① 次期地区役員委嘱状の授与
報告者：江上 泰弘 会長
内容：大友 利行会員へ次期地区「職業研修チーム委員会」副委員長への委嘱状が来ております。

スマイル 仙波 洋八 会員

●江上 泰弘 君・松山 優喜 君
「熊本ロータークラブの木下康様、本日の卓話宜しくお願ひいたします。グリーンロータークラブの名付親とお聞きました。名前にはじかないよう活動を続けていきたいと思ひます。」

●河野 景治 君
「先週の創立記念例会ご準備の皆様ありがとうございました。本日は熊本RCの木下康様、ご来訪と卓話に感謝申し上げます。」

●上田 観一 君
「木下康様の卓話を楽しみにしていました。公私とも大変お世話になっております。今後とも宜しくお願ひ致します。本日は仕事で遅くなり申し訳ありませんでした。」

●栗山 義則 君、葉 高源 君、廣坂 彰雄 君、大友 利行 君、荅 孝之 君、仙波 洋八 君

①「木下康の卓話、大変興味深く楽しみにしています。また、木下様の来訪を歓迎します。どうぞゆっくりお楽しみ下さい。」

②我がクラブ歌「友と語ろう」を早く覚えるためにしばらく歌いつづけますので皆で頑張ってお歌って下さい。」

③「昨日のじゃがいも植えは雨で中止となりました。連絡の不徹底で栗山さんと山下(隆)さんは現地まで出かけたそうです。ご苦労様でした。また来週集まって下さい。」

3. 例会プログラム

紹介者：河島 一夫 会員



卓話者：木下 康氏(熊本RC会員)
「加藤家と水戸光圀 指導者としてのあり方」

4. 閉会・点鐘



クラブの問題を早期にキャッチ 危険信号を発するクラブがあれば、

退会者が出る前に地区リーダーが支援の手を

危険信号とは何でしょう。クラブに消極的な会員や、例会途中で帰ってしまう会員はいませんか。熱心な会員だけが活動に参加していませんか。このようなクラブの危険信号を察知した場合、地区のリーダーは、どのように対応すればよいでしょうか。

第6220地区（米国ミシガン州一部とウィスコンシン州）の研修リーダーでガバナー・ノミネーであるデイビッド・イエギアイアンさんは、これまでに、問題のあるクラブにさまざまなヒントを与えてきました。ほんの少し変化を加えるだけで会員の減少を防ぐことができ、早期に対応を試みれば、クラブを活性化することが可能だと説明します。

危険信号を察知し、対応するためのヒントを以下にご紹介します。

① 低い出席率：第6220地区では、四半期ごとの出席状況を確認し、出席率の低い会員の相談に乗るようクラブ役員に奨励しています。連絡を取った結果、その会員や家族が健康問題を抱えているなど、理由が分かるかもしれませんが。そのような時は、電話をかけて見舞いの言葉を伝えるだけでも、クラブに対する会員の気持ちをつなぎとめることができるかもしれません。

② 消極性：周囲の人に影響を与える危険があるのが消極性です。「消極的な会員本人はクラブに残っても、ほかの会員の退会を招く可能性がある」とイエギアイアンさんは話します。例えば、国際的プロジェクトを希望する熱意ある会員も、ほかの会員が消極的だと意欲を失ってしまいます。ですから、会員同士で理想やアイデアを語り合うよう奨励したり、プロジェクトでほかのクラブと協力するよう支援したりすることが大切です。

③ 関心が持てない状況：「関心や特技を生かせる活動に会員を参加させること」を強調するイエギアイアンさんは、「会計士には会計係、非営利組織の関係者には資金推進委員長」のように役職を勧める工夫が大切だと説明します。熱意を持って取り組める分野で力を発揮できれば、プロジェクトの質や、会員一人ひとりの満足度はきっと向上するはずですよ。

④ 経済的な問題：イエギアイアンさんは、経済的な理由からクラブを去る若い会員が多いことに気付きました。経済的な理由でロータリーの心を持った人々を失うことがあってはならないと、第6220地区は現在、経済的に余裕のない若手会員を対象に、クラブ会費を免除しています。また、食事を注文する代わりに、お弁当を持参することも認めています。

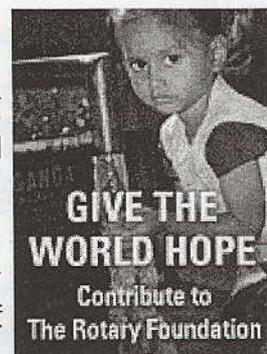
イエギアイアンさんは、クラブが参加や出席に関する年次調査を実施し、ビジョンに基づいて計画を立てられるよう、地区リーダーがクラブに支援を提供する必要性を呼びかけています。また、ロータリーのリーダーたるもの、会員の意欲を高めるだけでなく、会員のひらめきを生む土壌を培うことが大切だと主張します。「会員のその場限りの参加を望むなら、やる気を引き出すだけで十分です。しかし、末永い参加を期待するなら、ひらめきを導くリーダーとならなければなりません」

活気あるクラブづくりや、問題を抱えているクラブの支援に関するヒントをご覧ください。



家族とロータリーの時間を大切に

6年前に米国コロラド州のハイランドランチ・ロータリー・クラブに入会したビル・シマーモンさんは、入会時から、クラブ活動に積極的に参加しながら、家族との時間も大切にしたいと考えていました。そこで、昼の例会やクラブ活動に2人の息子を連れて行くようになりました。今では長男のデンバー君が社会奉仕や国際奉仕に参加し、インターアクターとなっただけでなく、例会でも何度かスピーチを行っています。また、奥さんもクラブ活動への協力に積極的です。



「家族で参加している」と話すシマーモンさん。「ロータリーのせいで家族との時間がなくなることはありません。むしろその逆です。家族全員で参加することで、もっと充実した時間を過ごせるようになりました。ロータリーでは家族一人ひとりが参加できることがあります。クラブ会員の中には、ロータリーに参加する一番の理由は子どもが奉仕活動に参加できるから、と言う人もいます。高校では社会奉仕への参加が強く奨励されていますし、大学を受験するときにも奉仕の経験が有利になります」

LinkedInのロータリー公式ページでは、ロータリーの活動に家族で参加することの大切さについて、ディスカッションが行われています。シントマールテン・ロータリー・クラブのヘナ・ブドラニさんは、年末年始に高齢者を対象とした食糧配給のプロジェクトが行われた際、子どもたちも一緒に参加したと言います。また低所得家庭の子どもたちのためのクリスマス・パーティーにも、子どもたちが一緒に参加しました。

親から子へと受け継がれるロータリー

米国ワシントン州、リンウッド・ロータリー・クラブのブルース・トンブソンさんは、父親と同じクラブに所属し、2人ともクラブ会長を務めた経験があります。トンブソンさんは入会前から、母親と4人の兄弟とともに毎年クラブの活動に参加していたそうです。現在は、トンブソンさんの子どもがクラブの活動を手伝っています。「ロータリー・クラブは私たち家族が社会奉仕に参加する場となっています。ロータリーは家族に大きな影響を与えているだけでなく、地域社会全体に変化をもたらしています」

さらに、四つのテストをはじめとするロータリーの基本理念は、親として子どもに教えるべき大切な要素です。「ロータリーの中核を成す価値観は、私たち家族も大切にしています。こうした価値観を、ぜひ子どもたちに教えていきたいと思います」

12月の家族月間を機に、家族について考えた方も多くおられたことでしょう。それぞれの家族の大切さだけでなく、ロータリー・ファミリー（ロータリアンとロータリーの活動にかかわるすべての人々。全世界のロータリー財団プログラム学友やロータリーの青少年プログラム参加者など）についても考える良い機会となります。



ハイランドランチ・ロータリー・クラブがニカラグアに派遣した医療チームに同行し、プロジェクトに参加したデンバー・シマーモン君。（写真提供：Bill Simmermon）